

【砥部町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和6年度砥部町教育基本方針で示しているように、学習指導要領や中央教育審議会答申の「個別最適な学び」と「協働的な学び」の趣旨を踏まえ、ICT機器の効果的な活用により確かな学力の定着と向上、個性や能力を最大限に伸ばすとともに、主体的・創造的に取り組む態度の育成に繋がる教育の充実を目指す。

2. GIGA第1期の総括

本町では令和2年度末に指導者用含め端末、ソフトウェア等の整備を行うとともに校内無線LAN環境を導入した。

ICT機器を活用した授業の支援、研修、教材作成等の支援、教職員のICTスキル向上を目的としICT支援員を1名（5校を日替）配置した。

モデリングアプリやデザインツールの活用によって児童生徒の技能向上に繋がっていることやホワイトボードアプリを活用して同時双方向のやり取りを行うことができ、学級内の授業だけでなく、オンラインによる他校との交流授業にも活用できるなど、授業の幅が広がっていた。

しかし、年度が進むにつれてICT機器の活用機会が増えているが、教職員によって使用頻度・実施頻度のばらつきが見られ、教職員の得意不得意によって学級間での格差につながる懸念される。

中学年以上の活用は進んでいたが、低学年においては活用機会が難しく、十分に活用ができなかったといった報告も学校からあった。

また、セキュリティの強さや利用許可申請などの手間から新しいアプリケーション利用の障害となり利活用に消極的になる現状がある。

3. 1人1台端末の利活用方策

個別最適な学び、確かな学力の定着と向上実現するため、1人1台端末にてデジタル教材等を活用し、個に応じた補充的な学習を行うことで基礎的・基本的な知識及び技能の向上を図り、学習のダッシュボード機能により、設定した目標や学習記録を視覚的に示す機会を設けることで児童生徒の学習に対するモチベーションを高め、学習意欲の向上を図る。

また、アナログとデジタルそれぞれのよさを適切に生かすため、伝統ある愛媛教育に ICT 環境を適切に掛け合わせて活用することでより質の高い授業改善に取り組み、学力の向上を図る。

主体的・創造的に取り組む態度の育成について、IT や ICT 技術を活用したアクティブラーニングやプログラミング教育を推進し、発信力や ICT スキルを高めることにより、個性や能力を最大限に伸ばす。

GIGA 第 1 期を受けて、教職員間のスキルにおいて、他校の取り組み等も含め共通理解を図る機会や研修、ICT 支援員による支援等の機会設け、全体的な底上げや基礎的・基本的な知識及び技能の向上につなげる。

また、フィルタリング等セキュリティにおいて細かな設定が可能なソフトへ変更し、柔軟で迅速な対応を可能とすることでスムーズな授業の展開を図る。